

# 兵庫民医連 東日本大震災 対策ニュース

県連内の動き 【3/30(月) 17時現在】 大震災から20日目 **第18号**

## 【法人の支援状況と動き】

**各法人の支援状況** 全国で **1,275名**の支援(3/30日現在)

### 【本日までの支援参加者数】

尼崎医(17) 共和会(23) 神戸医(15) 姫路医(4)  
クリエイト(2) 駒どり(1) はあもにい(3) ヘルス(2)  
県連等(6) **合計:73名**

### 【今後 支援予定者】

4/02~07 共和会 4名  
4/06~12 尼崎医 4名  
4/11~17 神戸医 4名  
4/16~22 姫路、共和会 4名  
4/21~27 尼崎医 4名

**\*その他、個別の調整もさせていただいております。**

3月29日、「3・23全日本民医連対策本部の方針」を踏まえて、兵庫民医連対策本部として「4月以降の人的支援について」を発信しました。急な提案でご迷惑をかけますがよろしくお願いいたします。

## 法人の動き

【本日の午後4時までに届いた各法人のニュースに基づいて掲載しています】

【共和会】4/2~支援メンバー決まる。物資支援は本日全日本民医連に宅急便で送りました。

【宝塚医】本日の被災者救援街頭募金活動は、9名(うち中学生2名)の参加で、15658円集まりました。千円札を入れてくれる人(7人)、一円、5円を貯めていた(500枚以上)のを持ってきてくれたりしました。

【ヘルス】本日佐野氏が薬剤師支援依頼に応じて現地へ向かいました。

【県連】本日8時に日高事務局長がガソリンを届けに出発し、長町へ向かいました。

**\* 全日本民医連は「東日本大震災の被災者への医療・介護・福祉サービスの提供に関する要望書」を29日に提出、ホームページにアップされています**



宝塚の街頭募金活

## 神戸医療生協 報告集会開催

(神戸医対策ニュースNo11より)

■報告集会82名の参加でした!

3月13日の第1陣から3陣までの支援者の報告集会は、資料が無くなるほどの参加者が集まり組合員も数名参加されました。支援者11名からの報告は、急にお知らせしたにも関わらず、多くの方が資料を作成したり、写真アルバムを作成したりして中身の濃い報告集会となりました。



## 現地からのレポート

**現地レポート (共和会チーム)**

(共和会対策ニュースNo17より)

＝3月29日(火)＝ 22:29 三宅 宣人 一略一。全体像は支援チームの滞在サイクルが短くなっていることです。カルテは蓄積 出来てもマンパワーは下がってただこなしているように見えます。被災者の震災前後の社会的側面、失業など出てきています。これからが重要になってきます。

＝3月30日(水)＝ 07:35 おはようございます。今朝も良い天気です。津波の後片付け、こちらの皆さんは元の生活に向けて寸暇を惜しみ、忘れるために、避難所で疲れた体を宥めながら働かれるでしょう。さて、車に積んでいる荷物ですが食料はすべて坂に、7階と病院2階の炊き出しに置いて帰るつもりです。ですから5次隊は寝袋と作業着の一部を持って帰って貰おうかと思えます。こちらの食料事情はそれほど悪くはありません。・・・大事ことが一つ。水道と電気は大丈夫ですがガスはまだです。7階デイではガスコンロで温めたり煮たりしています。それと子供用と幼児用のマスクが足りません。また食器、特に椀があれば良いですね。5次隊で持ってきたら良いですね。

## 現地レポート（尼崎医チーム）

（尼崎医対策ニュースNo14より）

### 自分たちができることをひとつずつ

＜阪上師長、石川看護師の報告＞

長町病院の職員の方々は明るい方ばかりですが、支援者が入れ替わり立ち替わりでかなり疲れてきていると思います。支援する側も闇雲に行くだけでは余計疲れさせているのではないのかと思います。本当に手が欲しい部分を私たちがお手伝いできればと思います。患者さんの中には、入院中に被災して自宅がない方もおられますが、明るく前向きに気持ちを持たれているのが印象的です。私たちに出来ることは限られており、支援しているというより支援されていると感ずることがあります。とにかく自分達にできることを一つずつやっていくことしかないと思います。



## 現地レポート（姫路医）

（姫路医対策ニュースNo5より）

### 精神面のフォローが大切 ＜藤田看護師の報告＞

一略一。施設では入所者の介助や支援物資仕分などの避難所環境整備を担当した。余震や環境の変化で不安を訴える方や不穏行動も多くみられ、精神面のフォローが重要。宮城野の里では訪問看護師をしておられた田中看護師が震災初日からずっと一人ボランティアで活動されていたが、支援看護師を派遣できたことで少し休養をとっていただけた。福祉施設であるが避難者が多いため看護師が24時間対応できることが安心材料となっており、当直業務を担当した。耳原総合病院の看護師へ引き継いだあと3/23（水）夜に坂病院へ戻った。



## 【尼崎医】支援者のケアの取り組み紹介

法人の衛生委員会を中心に、被災地支援に行く職員を送りだした職場や法人全体で、派遣された職員が現地での任務を通して受ける心身へのストレスについて理解し、適切な対応と配慮ができるように「被災地支援派遣職員のケアについて」の文書を作成し、帰任後の流れをつくりました。これは、第一次派遣職員の帰任後から全員に実施しています。帰任後は2日間を勤務免除とし、これ以外に特別休暇を1日取得することができます。ケアの特徴としては①帰任後の勤務免除期間中に上司から連絡を入れる ②最初の出勤日には、衛生委員または職場の上司が面談記録票を用いて身体・精神状態を把握する そして必要に応じて、臨床心理士によるカウンセリングや受診につなげることなどを確認しています。兵庫でもこれまで72名の支援にて出ており、尼崎に習って支援者のケアにつとめましょう。

## 法人別義捐金集約（3/30 現在） 17,639,769円

尼崎医グループ	4,589,414円	たじま医	562,165円
共和会グループ	6,407,149円	駒どり	1,562,340円
神戸医グループ	2,414,350円	はあもにい	95,090円
宝塚グループ	451,952円	県連・兵医協	425,000円
姫路医	1,132,309円	合計	17,639,769円

## 3・27兵庫県民集会での東日本大震災募金＝合計457,440円

国民運動実行委員会へ243,962円(集会で)、日本赤十字社へ213,478円(街頭で)、を振込む